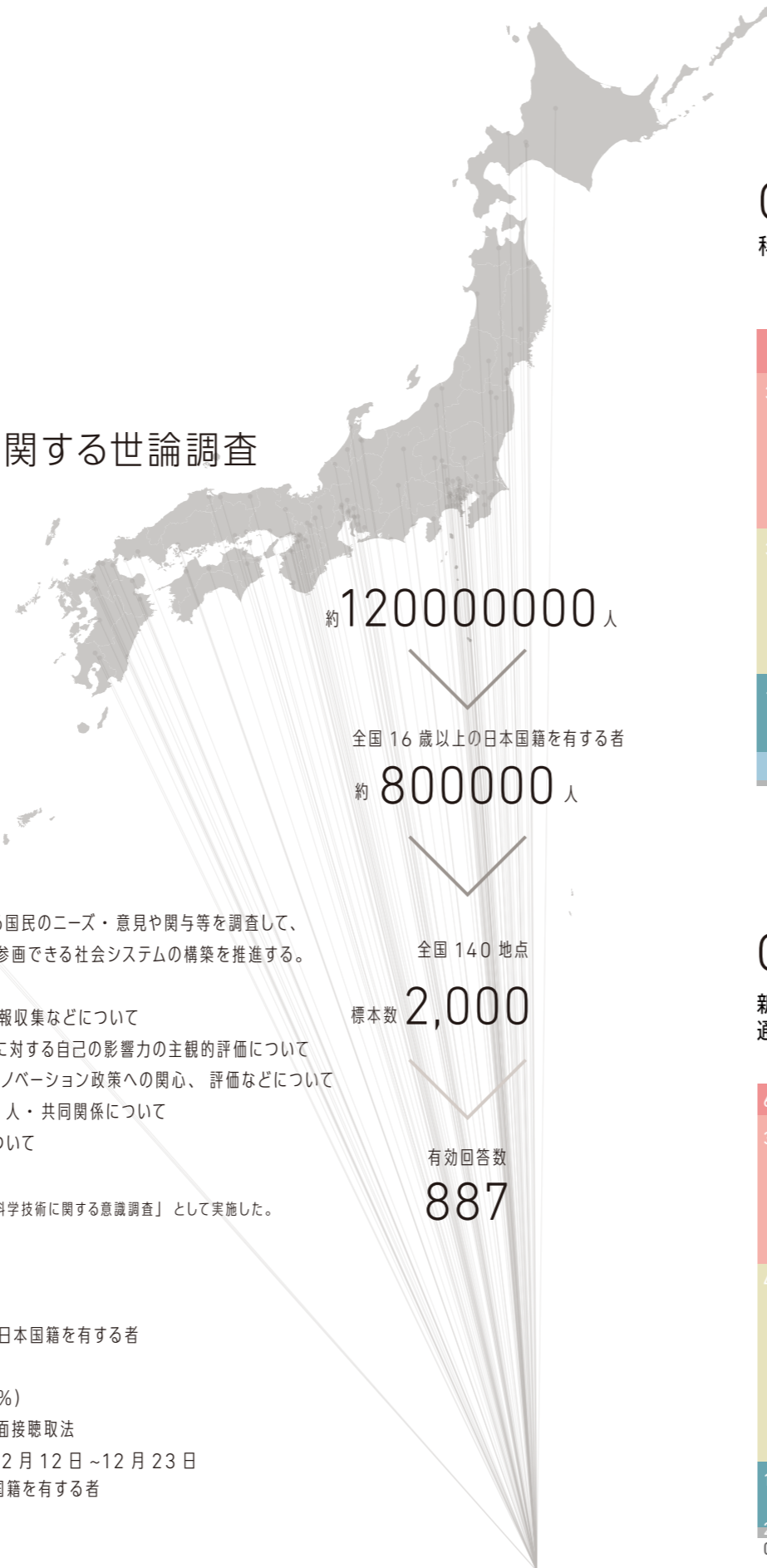


SURVEY OVERVIEW

科学技術イノベーション政策に関する世論調査



調査目的

科学技術イノベーション政策に関する国民のニーズ・意見や関与等を調査して、幅広く国民が政策形成のプロセスに参画できる社会システムの構築を推進する。

主な調査項目

- 1 科学技術への関心、理解度、情報収集などについて
- 2 科学技術イノベーション政策形成に対する自己の影響力の主観的評価について
- 3 日本国内の各種政策と科学技術イノベーション政策への関心、評価などについて
- 4 科学技術の進歩に寄与する組織・人・共同関係について
- 5 新技術・新製品に対する態度について
- 6 ライフスタイルについて

* なお、調査時にはタイトルを「くらしと科学技術に関する意識調査」として実施した。

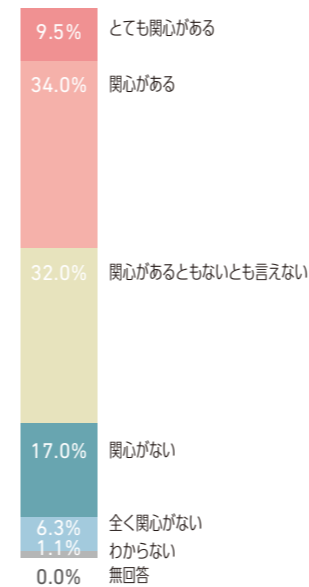
調査設計

- 1 調査地域
- 2 調査対象 全国
- 3 標本数 16 歳以上の日本国籍を有する者
- 4 有効回収数 2,000
- 5 調査方法 887(44.4%)
- 6 調査時期 調査員による面接聴取法
平成 25 年 12 月 12 日 ~12 月 23 日

標本計画

- 1 母集団：全国 16 歳以上の日本国籍を有する者
- 2 標本数：2,000 人
- 3 地点数：140 地点
- 4 抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

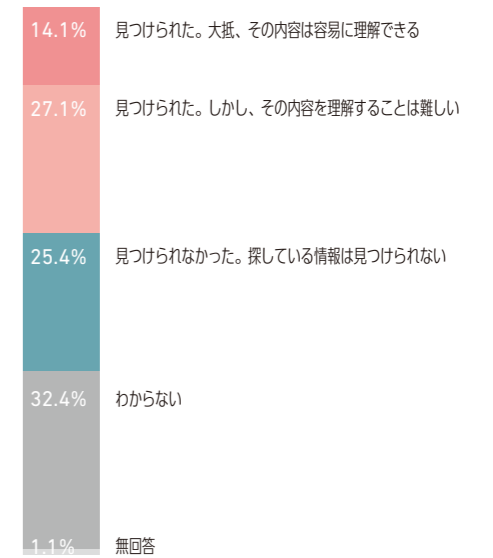
Q1 VICTORIAN SEGMENT 科学・技術の関心の有無



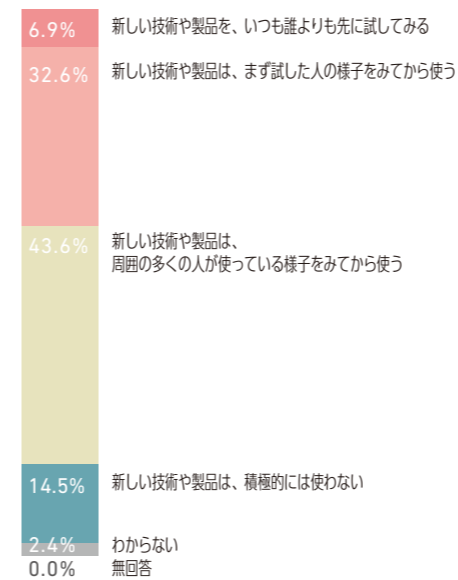
Q2 VICTORIAN SEGMENT 科学・技術に関する情報を積極的に調べることの有無



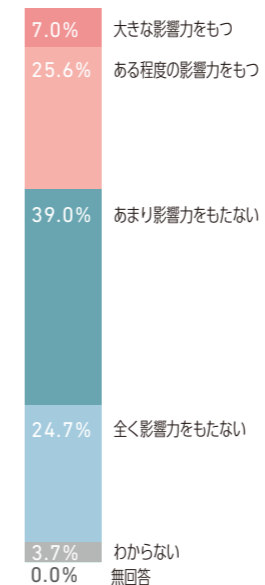
Q3 VICTORIAN SEGMENT 過去、科学・技術の情報を調べた際、探している情報を見つけることができたか



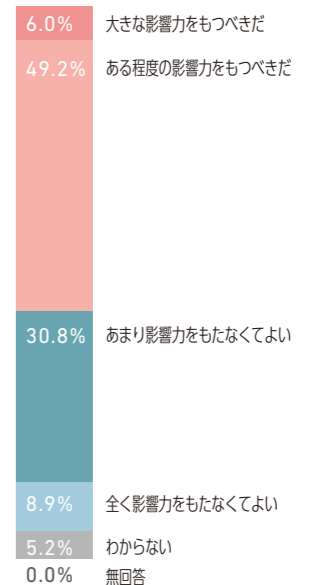
Q4 人型アイコン 新しい技術や製品について通常どのように感じるか



Q6 手型アイコン 重要な科学・技術の問題の政策形成に対して、あなた個人がもっている影響力

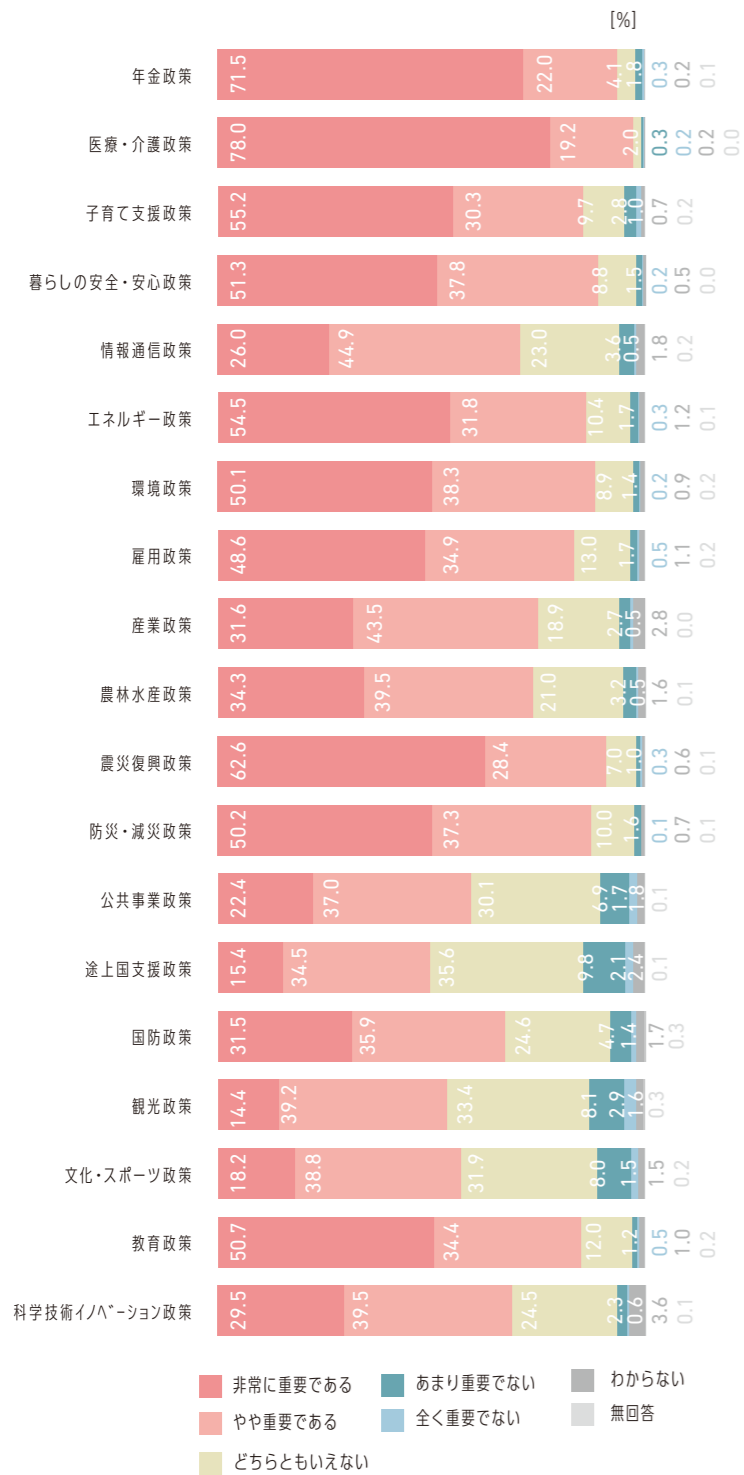


Q7 手型アイコン 重要な科学・技術の問題の政策形成に対して、あなた個人がもつべき影響力



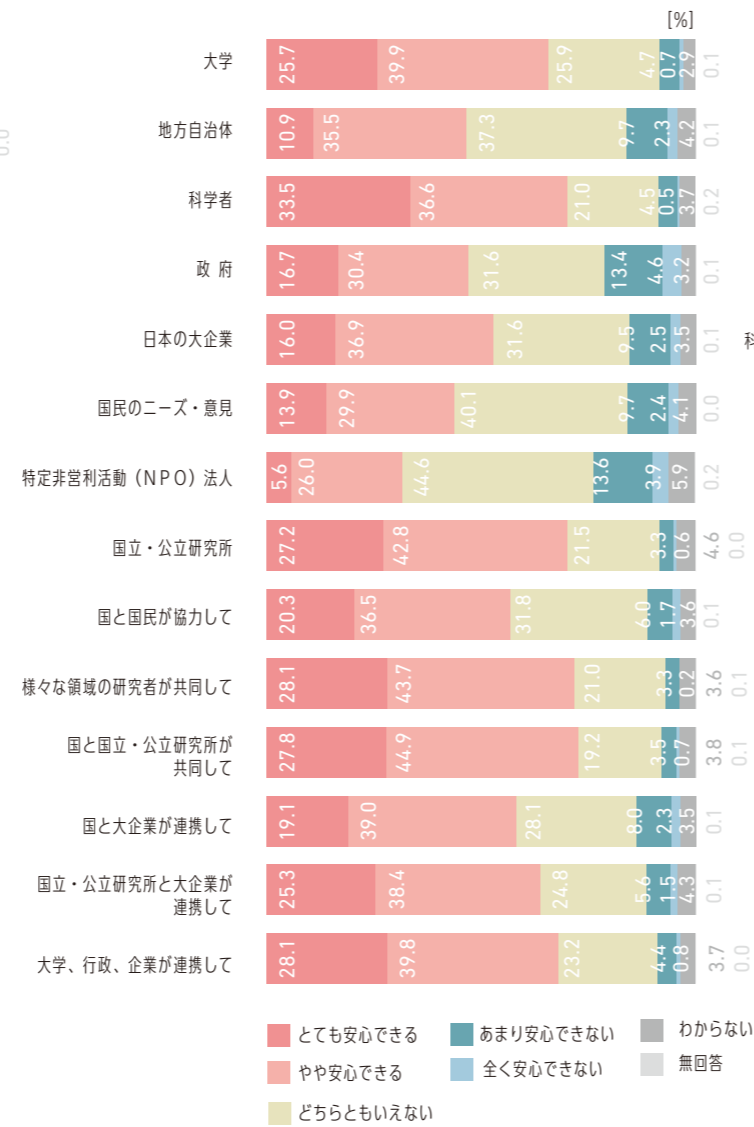
Q8

日本の国や国民全体にとって重要な政策項目



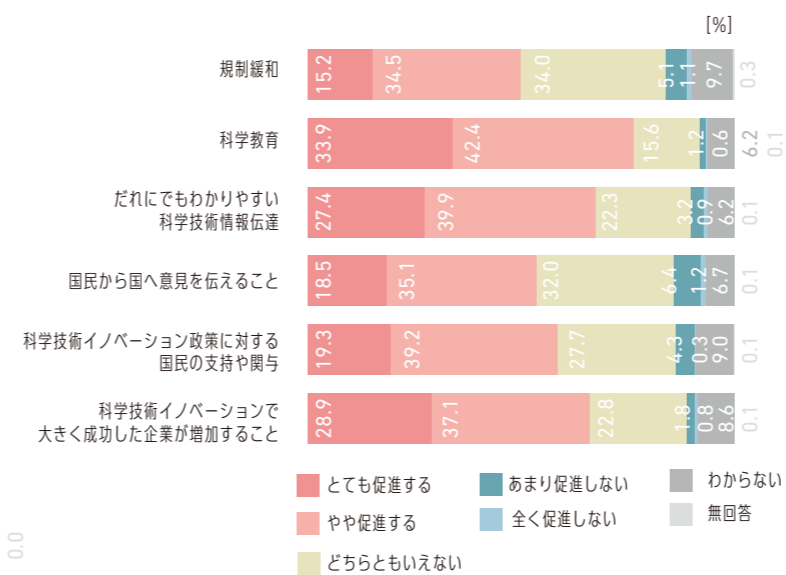
Q9

国民として科学・技術の進歩をリードしてくれると安心できる組織・人・共同関係



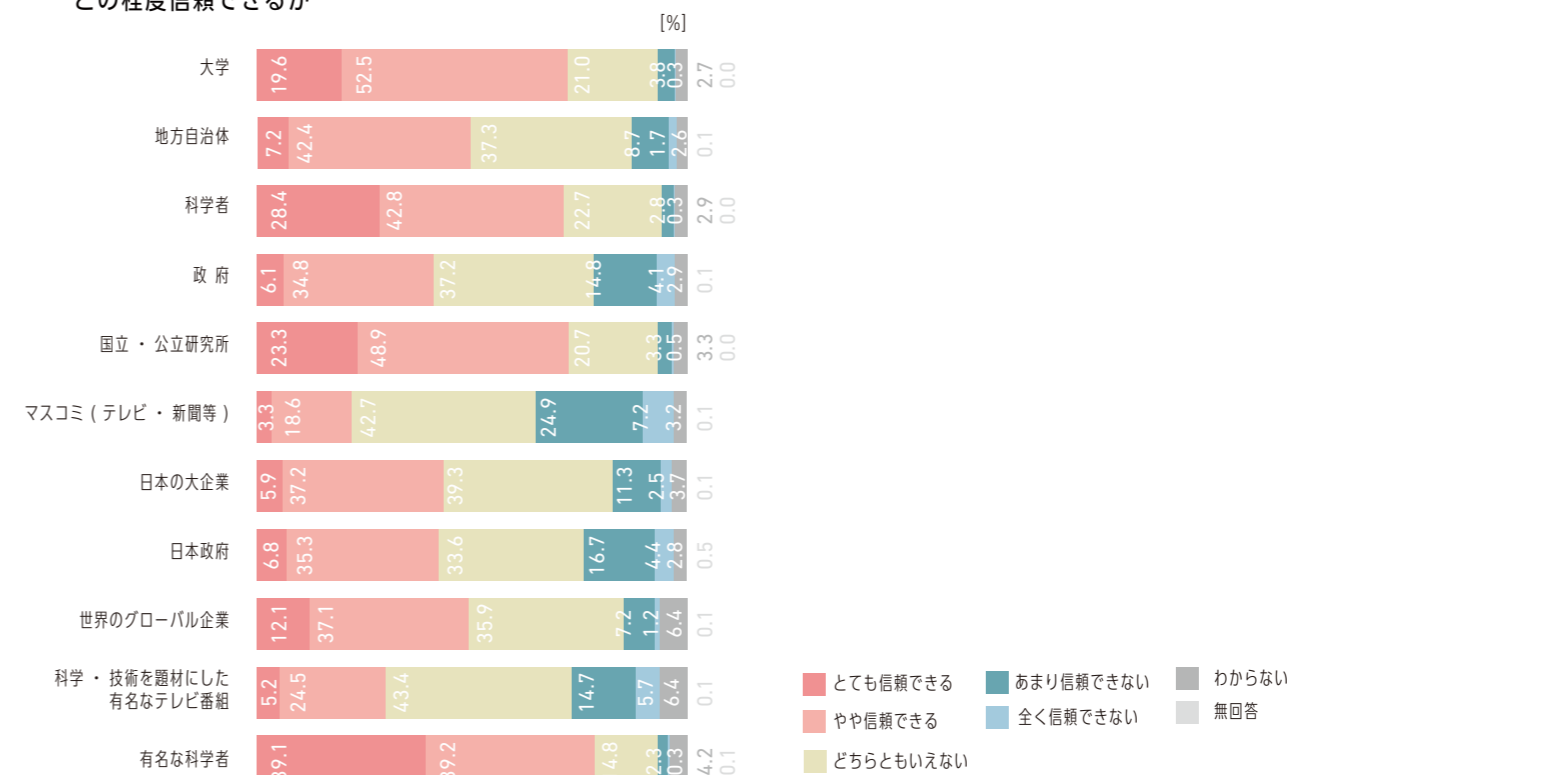
Q10

科学技術イノベーションを促進すると思うこと



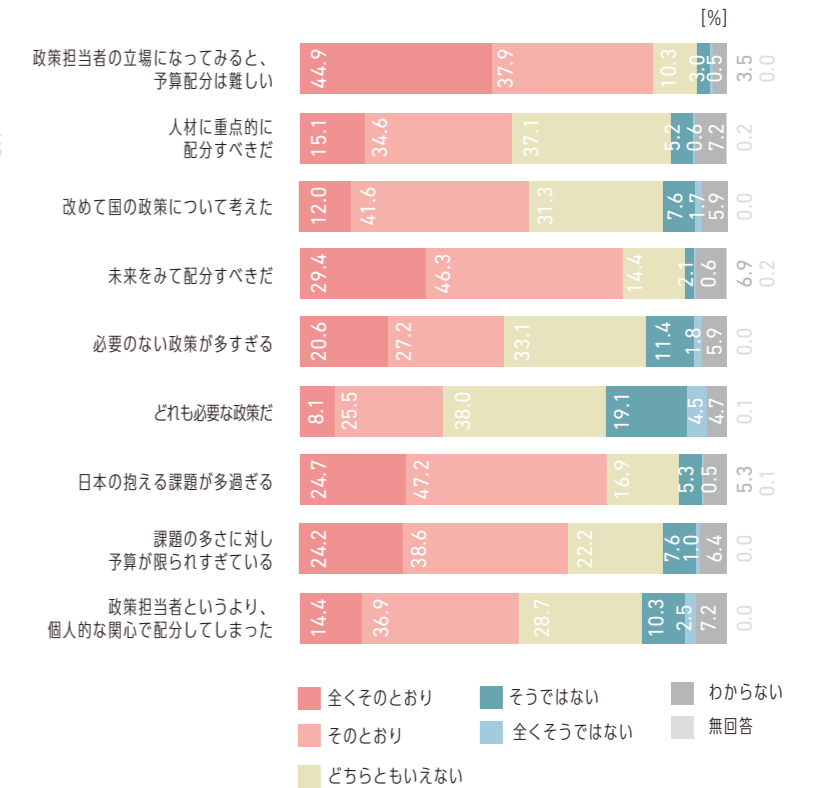
Q11


組織や人などがもたらす科学・技術の情報を、どの程度信頼できるか

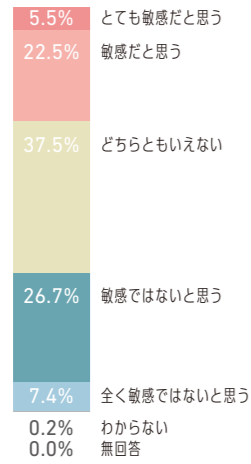


Q13

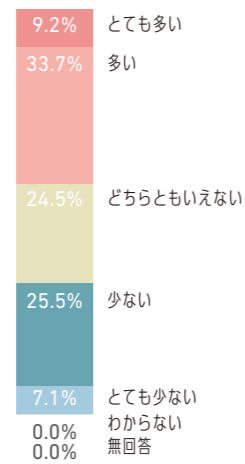
政策担当者の立場になって回答する中で、感じたり、考えたりしたこと



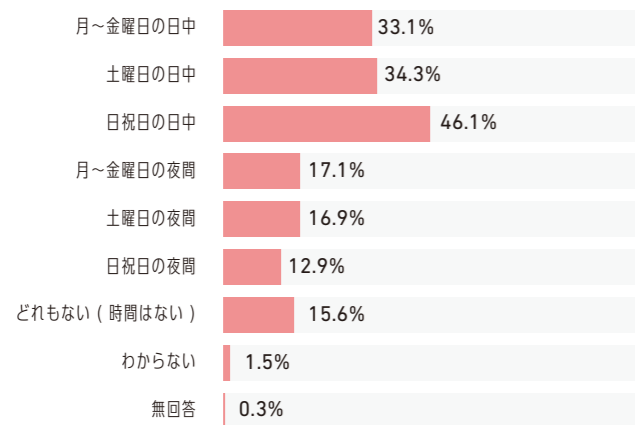
Q14  自分自身が流行に敏感だと思うか



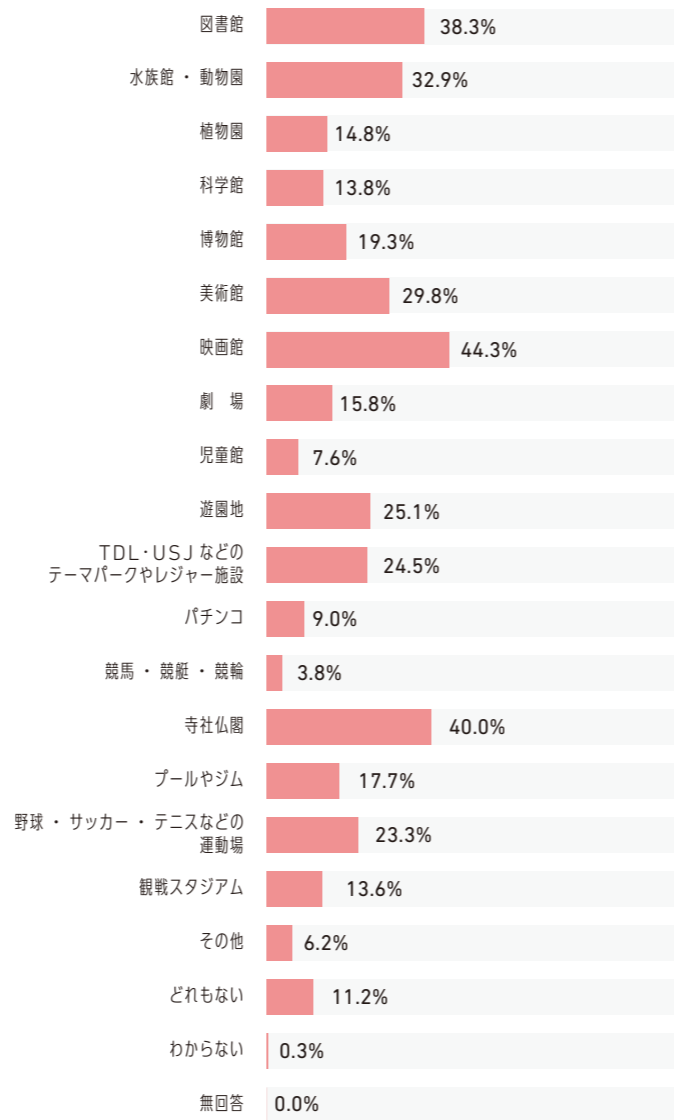
Q15  友人や知人に誘われて外出することが多いか




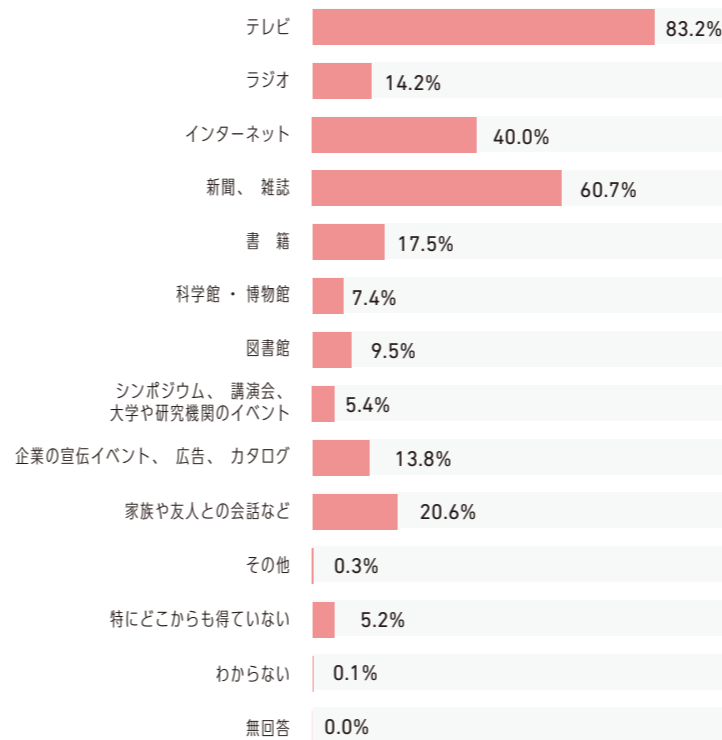
Q16  趣味や習い事やレジャーなどの余暇活動にあてることのできる時間



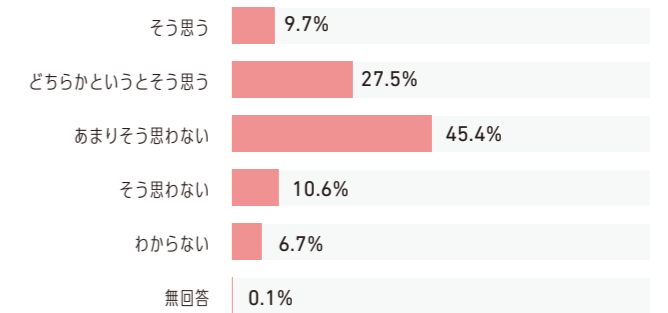
Q17  過去1年間のうちに、余暇を利用して足を運んだことのある施設



Q18  ふだん科学技術に関する情報を得ている媒体



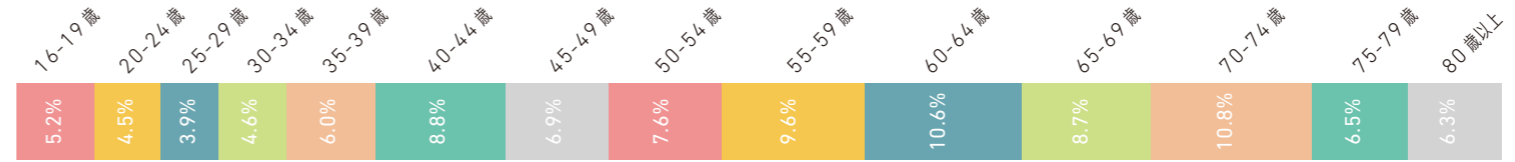
Q19  科学技術への関心と理解を深める機会や場は十分にあると思うか



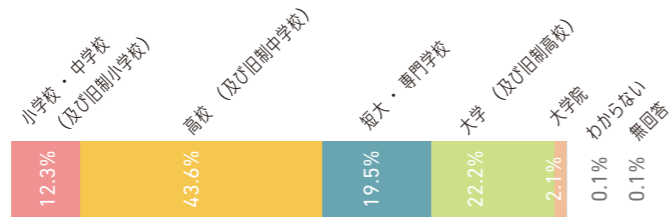
F1 性別



F2 年齢



F3 最終学歴



F4 最終学歴の専門分野

(F3で「短大・専門学校」「大学」「大学院」と回答した人のみ)



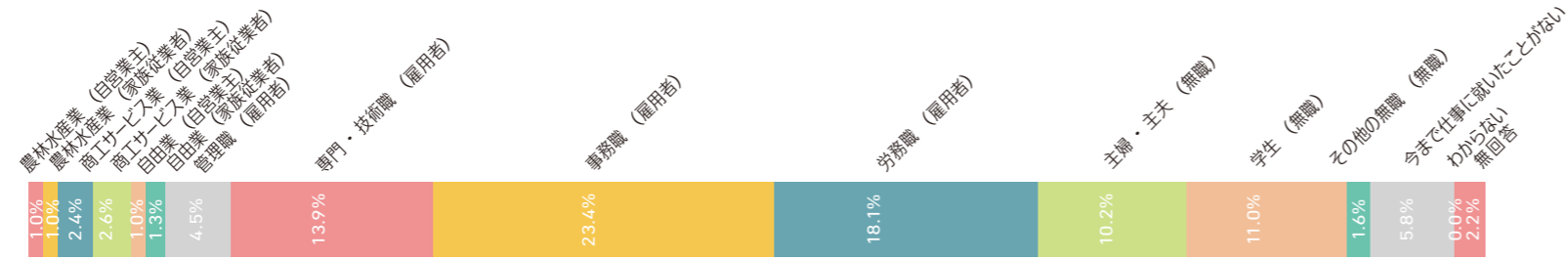
F5 15歳くらいまで、おもに過ごしたところ



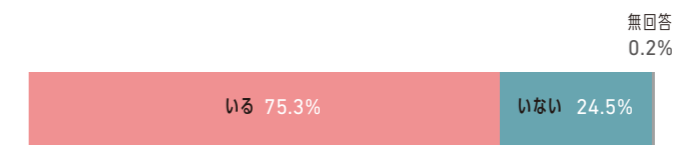
F6 現在の職業



F7 これまでで、一番長く働いていた職業



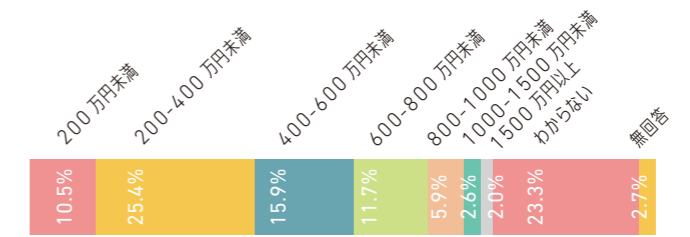
F8 子どもの有無



F9 子どもの現在の就学状況



F10 過去1年間の世帯収入(税込)



F11 都市規模



F12 地域ブロック



F13 調査結果冊子郵送希望の有無

